

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55
31 2985



お読みください
日刊月 2900
日曜版月 800円



春

迎

12月議会に23議案と諸般の報告で愛宕山開発用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望について福田市長が報告を行いました。要望は11月24日、福田市長が防衛大臣、副大臣、外務大臣政務官らにたいして、愛宕山用地運動施設整備、米軍再編に関する安全安心対策について、地域振興対策について、自衛隊の岩国残留についての4項目要望を行ったことについて市議会へ報告し、質疑が行なわれました。

また8月の人事院勧告に基づく職員、議員等の手当てや50歳以上の職員の給与引き下げについて即決審議が行なわれました。日本共産党は反対討論を行ない、反対は日本共産党の3名だけでした。改選後の初議会、一般質問は、議員32名中21名が行ないました。(含・新人議員5名)

私は TPP (環太平洋連携協定) 交渉について、岩国市の農業・経済への影響と政府の交渉参加の中止を求め、都市計画区域の見直しについて、市街化区域・調整区域について実情に応じて変更すること、市街化区域内の農地の宅地並み課税を廃止すること、アルゼンチンアリ駆除対策について、3ヶ年の防除試験の成果と今後の駆除対策について質問を行いました。(詳細は左記の通りです)

TPP (環太平洋連携協定) 交渉

岩国市の農業・経済への影響と

交渉参加への中止を求めました

民主党は平成二十一年総選挙 外品目なく100%の貿易自由化を います。岩国市はこの事態をどのや二十二年の参議院選挙のマニ 目指し、関税撤廃を原則として ように受け止め、岩国市への影響フェストでTPPについて何ら います。 どのように考え、TPP交渉に 明らかにせず、突然、TPPにつ TPPへの参加は、日本農業 ついてどのような対応をとるの

閣議決定しました。 TPPは例 済、雇用を破壊するといわれて

TPP参加は経済 地域を破壊する

答弁では、農業や経済に与える影響はそれぞれの所管で試算されています。 TPP参加となれば1960年に木材輸入を自由化した以降の林業衰退に見られるように農業全体の衰退が懸念されます。

先進国の中でも最も低い食料自給率の更なる低下は食糧の安全保障面から危険な状況になりかねない。

中山間地域が多い岩国市は、現時点での試算をすることは困難だが大きなデメリットが想像される。

市の経済は様々な産業から成り立っていることから色々な機会を捉え市長会など含め今後の対応を検討したい」としました。

県会議員選挙

福祉 平和

これが**久米けいすけ**の原点です
弱い立場の人に光をあて、誰もが希望を持って生きていける社会にしたい。



久米けいすけ

県会議員

用語解説

TPPとは

アジア太平洋での自由貿易圏の構築を目指すための協定のこと。参加国間での貿易に関する関税の撤廃を原則としており、例外規定がなく完全自由化を目指すもの。

TPPに参加すれば大きな経済効果があるとして、TPPへ参加することが検討されているが、参加すれば日本の農業・経済に大きな打撃を受ける事が予想され農業関係者・消費者団体など多くの反対があります。

アルゼンチンアリ駆除対策について

報道によると、東京、京都でもアルゼンチンアリが確認されています。岩国市内でも市内全域で確認されこれ以上、生息範囲を拡大させなければなりません。

3年間続けてきた防除実験の結果は上がっていると思う。しかし、国の交付金は今年度で終了する。市民はこの事業を継続して欲しいと強く求めています。国が事業継続を行なわないのであれば、岩国市独自でも駆除を行うための予算を計上すべきと思うが今後の対応について質問しました。

答弁では「18年3月にアルゼンチンアリ対策広域対策協議会を立ち上げ、国の取り組みを求めると同時に連携して防除にあたり、20年度から国の生物多様性保全推進支援事業に伴う交付金を受けたアルゼンチンアリ防除モデル事業を実施してきました。

岩国市が実施した防除実験は環境への影響が少ない遅効性の薬を餌に飲み込ませたベイト剤を敷地に設置、巣ごと退治する方法を自治会の協力を得て実施、その成果を基に防除マニキュアルを製作するものです。

試験の結果、完全な駆除は困難だったが、まとまった地域で一斉に駆除すれば、一定の効果があり継続して実施すれば大きな効果が期待できる。

アルゼンチンアリは特定外来生物に指定されており、国が防除を行なうことになっており、今後も広域行政協議会を通じて国に交付金事業の継続を要望していきます。同時に防除マニキュアルを活用してアルゼンチンアリの防除対策に努める」としました。

当局の認識の甘さ

私は、答弁が市民の被害実態とかけ離れており、アルゼンチンアリの被害を防止する為に国の駆除をまたずに岩国市独自でも駆除を実施するよう強く求めました。

アルゼンチンアリの分布状況
 灘地区(黒磯、青木、藤生)海士路、南岩国、東地区、平田地区、今津、山手、錦見、岩国地区、玖珂地区



アルゼンチンアリを発見したらすぐに岩国市環境保全課(29-5100)へ連絡を

このアリは体長2.5mmと小さく、動きがずばしこい。

冬眠もせず、一年中活発に活動する。但し冬の時期は活動が鈍い。

日本のアリのように土の中に巣を造らず、鉢物、マルチシートなどの下に巣を造ります。

一つの巣に複数の女王アリがあり、働きアリは1000匹に対し女王アリは8匹程度生息、女王アリは一日に60卵程度産み、繁殖力は想像以上に旺盛です。

都市計画区域の見直しを

実情に応じて変更すること

市街化区域の農地保全是農地の多機能を生かし、安全安心な農産物を市民に提供するものできわめて重要です。しかし、市街化区域内の農地は宅地並み課税による過酷な固定資産税がかかっている。農地の宅地並み課税を廃止し、地域の状況に合わない地域は調整区域に変更することを求めました。

市街化区域および調整区域の農地の固定資産税

早期に是正を求める

答弁では、市街化区域は概ね5年後との山口県が示す都市計画の方針に基づき、必要に応じて見直すことが可能です。岩国市も実態に即した運用を図ることを目指し、見直しへの検討を進めていきます。市街化区域の農地は地方税法の規定及び総務大臣によって定められた固定資産税評価基準によ

私は、具体的な金額を示し、農地の利用が実態にあっていない状況を指摘。一例として下記のような固定資産税額になっていることを示し、早期に是正するよう求めました。

青木町3丁目

(市街化区域の農地)		
萩原川の南側	1㎡	3257円
萩原川の北側	1㎡	6340円～14449円
(調整区域の農地)		
市道北側	1㎡	33円～81円

